

「絵本で育てるまちづくり事業」の概要について

1 経過

飯山市出身で、長らく首都圏にて児童図書出版業務に携わり、現在も日本ペンクラブにて重責を担っておられる方から、1万冊以上の絵本や児童文学書等の寄贈の申し出をいただいております。

◎寄贈者 上野明雄さん(S18年生まれ) 飯山市出身千葉市在住 現在も「野上暁」というペンネームで執筆活動を続けている。

- ・R5.1.31 伊東副市長、松木教育長等4名で上野宅を訪問。書籍を確認。
- ・R5.3.16/5.24/6.27 延べ3回
職員が上野宅を訪問し、劣化状況等を詳しく調査するために書籍3,000冊余をお預かりする。
- ・R5.8.1 上野氏からの寄付申出書を受理
- ・R5.8.21 寄附採納審査委員会

2 事業計画

令和5～6年度に掛けて上野氏のご自宅にある1万冊以上の書籍を飯山市に輸送作業を行う。(今年度はその内1万冊に限り寄贈を受け、輸送を行う。)今年度は併せて上野氏から紹介いただく絵本作家等の講演会や世界の優れた子どもの本展等を開催する予定。

書籍の活用策等については、下記4のとおり検討を行いながら、方針を定めていく。

3 予算要求額 1,527千円

(1)報償費	冬に開催を予定する絵本作家の講演会の謝金	200千円
(2)旅費	上記講演会講師の派遣旅費 上野氏との打ち合わせや書籍の箱詰めのため旅費	360千円
(3)需用費	書籍運搬用段ボール 他	150千円
(4)委託料	書籍輸送委託料、子どもの本展委託料	817千円

4 書籍の活用策について

活用策については、原則的には市立飯山図書館にて貸出等を行っていくが、膨大な量であるため更に有効活用を図るため飯山市図書館協議会にて検討を行う。当該図書館協議会の委員のほか、絵本や児童文学書に造詣の深い人材や絵本の読み聞かせ等の活動を行っている人材、更には地元高校生にも加わっていただけるような検討委員会を別途設置し、検討を行う予定。